

2011

九州共立大学研究紀要

創刊号 (第1巻 第1号)

巻頭言

福原弘之

九州共立大学研究紀要創刊によせて (1)

原著論文

奥田俊博

続日本紀宣命の仮名表記における表記意識 (3)

徐 陽

公認会計士の民事責任に関する研究 -中国における発展過程- (11)

木山慶子

モダン・ダンスの理念とフォルム -内面を語るために- (23)

安田繁, 中野聡太, 宇野伸志, 久保田哲, 立橋沙也香, 狩山裕, 田中邦博

超高齢社会における福祉マップの必要性とGIS利用の有用性について (29)

成富勝, 萩尾優希, 小野田久美, 竹内真一, 安田繁

ビオトープの創造と生物多様性環境の変遷および絶滅危惧植物の保護について (35)

中島久代

ゴシシズムと摸倣 -The Monkとバラッド詩- (43)

九州共立大学研究紀要創刊によせて

九州共立大学 学長 福原 弘之

本学ではこれまで各学部が個別に研究紀要を刊行し、教育研究の成果を学内外に公表してきました。学部ごとに研究紀要を刊行することは、その公表先・配布先を考えた場合、論文への深い洞察と評価が行われるというメリットもありますが、その一方で、同系列の専門分野に限られてしまい、学際的研究が盛んに行われている昨今の状況に鑑みますと、新しい視点からのアプローチが不十分になるデメリットも併せ持っています。

平成22年4月に、本学に九州共立大学共通教育センターを設置したのを機に、全学的な研究紀要を刊行する方向で検討を始めました。上述のメリット、デメリット等、これまでの経緯を踏まえ検討を重ねた結果、これまで各学部が個別に発表してきた教育研究成果を、大学の教育研究成果として発表していくことにより、これまで専門分野に限定されてきた公表先を拡大し、掲載された論文の質の向上にもつながると考えました。

本研究紀要は、大学の全ての職員が、教育研究の成果を発表し交流する場とすることを目指しています。『尚書』(説命 下)に「惟れ教ふるは学ぶの半ばなり」という言葉がありますが、これは、人を教え導く者における自戒の言葉として知られています。人にもものを教えるということは、実は学ぶことでもあります。そこには己の未熟さを知りどこまでも謙虚な心こそが求められるのです。本研究紀要を刊行するにあたって、先ず私たち大学人が思いを新たに、常に学ぶという姿勢を失わないように心がけなければならないと思案いたします。

最後に、ここに高らかな産声を上げて誕生した研究紀要の創刊のために一方ならぬ努力をしていただいた九州共立大学紀要委員会の委員長並びに委員の皆様、さらにはご協力いただいたスタッフの方々に心から御礼を申し上げます。

本研究紀要が多くの方々のご心読あって、忌憚のない評価を賜れば幸いです。

紀要委員

委員長

森 川 壽 人

経済学部

水 本 正 人

進 本 眞 文

ダニエル・ドロークス

工学部

鈴 木 要

鄰 曙 光

生 地 文 也

田 中 雄 二

森 元 史 朗

スポーツ学部

古 市 勝 也

長 谷 川 伸

富 田 純 史

島 屋 八 生

業務課

古 賀 進

平成23年3月30日印刷

平成23年3月31日発行

発行者 九州共立大学

〒807-8585

福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8

編集者 九州共立大学紀要委員会

印刷所 有限会社 秀文社印刷

〒804-0013

福岡県北九州市戸畑区境川二丁目3-3

2011
**Study Journal of
 Kyushu Kyoritsu University**
 First issue (No.1 Vol.1)

CONTENTS

Prefatory note

Hiroyuki FUKUHARA

..... (1)

Original Paper

Toshihiro OKUDA

Consciousness of Using Kana in Shoku-Nihongi-Senmyo (3)

Yang XU

A study about the civil liability of the certified public accountant

— The development process in China— (11)

Keiko KIYAMA

The ideal and form of modern dance (23)

Shigeru YASUDA, Sota NAKANO, Shinji UNO, Satoru KUBOTA, Sayaka TATEHASHI,

Hiroshi KARIYAMA and Kunihiro TANAKA

The necessity of the welfare map in the population aging society and

utility of the GIS use. (29)

Masaru NARITOMI, Yuuki HAGIO, Kumi ONODA, Shinichi TAKEUCHI and Shigeru YASUDA

Creation of the biotope and the change of the biological diversity environment

and the protection of the endangered plant. (35)

Hisayo NAKASHIMA

Gothicism and Imitation —Literary Ballads in *The Monk* — (43)